

マーケティングにおけるビッグデータの活用方法

AIがバズワード(*)として世間を席卷してから数年が経過し、徐々にAI導入を検討する企業が増えてきています。しかし、目的と手段を履き違えたまま、AIツールを導入してしまうケースが散見されます。

AIをうまく活用するためには、データが最も重要です。正しくデータを集めて分析し、データに基づいたマーケティング戦略を立てることができれば、必ずしもAIを使わなくとも成果を出せる可能性もあり、データの正しい活用方法を学ぶことは非常に大切です。

本セミナーでは、そのようなデータ駆動型マーケティングの事例や手法などの先端技術のご紹介を交えつつ、集めなければならないデータとはどのようなものか、データを集めるとできることなどを分かりやすくお話しします。

※バズワード：それらしくは聞こえるが、実はあいまいな意味のまま世間に広まる言葉

日時

令和3年3月2日(火) 14:00~16:30

会場

Zoom を利用したオンライン配信

※Zoomの環境がない方については金沢市異業種研修会館
(金沢市打木町東1400)でスクリーンによる聴講も可能です。

参加無料
Zoom 開催



対象

企業におけるデータの活用方法に関心のある企業
研究開発機関、行政機関の方々

※本市または本市近郊に事業所がある方が対象です。

【講演内容】

① ≪企業におけるデータ収集・分析・活用の基礎≫

北陸大学 経済経営学部 助教 藤本 雄紀 氏

集めるべきデータの形やその集め方、データを蓄積することで出来ることなど、先端技術を活用した事例を挙げながら説明します。また、データ駆動型の考え方を社内に浸透させるための方策もお伝えします。



② ≪データに基づいたマーケティング活動を考える≫

北陸大学 経済経営学部 助教 日下 恭輔 氏

蓄積したデータがマーケティング活動の駆動へどのようにつながるのかを最新の事例や研究成果を交えながら説明します。また、データを活用しようとするときの障壁についても、みなさんと考えてみます。



《講師紹介》

<p>藤本 雄紀 氏</p>	<p>北陸大学経済経営学部 助教 1991年生。関西大学大学院総合情報学研究科修了（博士・情報学）。2012年（株）関西総合情報研究所入社。ビッグデータ解析、Webシステム等の研究開発に従事。2019年より北陸大学経済経営学部助教。AI・データサイエンス・IoTに関する教育をする傍ら、学内に自由な創造の場所であるものづくりLabを設立。</p>
<p>日下 恭輔 氏</p>	<p>北陸大学経済経営学部 助教 1989年生。神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了（修士・経営学）。同研究科博士後期課程在学中。2018年北陸大学経済経営学部着任。カスタマイズ・サービスを利用する消費者の意思決定について研究を行う。消費者行動論、マーケティング論の教育に従事しながら、チーム・ビルディングを行うファシリテーターとして、大学生、高校教員、そして社会人を対象にワークショップを実施する。</p>

■ 申込方法：FAX（076-260-7191）又はEメールにてお申し込みください。

■ 申込先：金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市商工業振興課 担当 山田
TEL：076-220-2205
FAX：076-260-7191
E-mail：syokou@city.kanazawa.lg.jp

詳しくは、Webサイト
「金沢市産学連携ネットワーク」
をご覧ください。

金沢市産学連携ネットワーク

■ 申込締切：令和3年2月25日（木）

「先端ものづくり技術交流セミナー(第3回)」参加申込書

会場（いずれかに○）				オンライン配信（Zoom）		・ 異業種研修会館（スクリーン）	
企業名							
所在地 〒							
TEL				FAX			
参加者	役職	氏名		E-mail			

※オンライン配信で受講される方には、後日、URL等をメールでご案内します。

※申込みをいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内をさせていただく場合があります。